

科目名	子どもの健康と安全				担当	吉澤 恵子		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2 年前期	実務経験	保健師として保健センターや発達相談センター等での勤務経験あり	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y3303	DP との関連	2
授業概要	1 年次の「子どもの保健」で学んだ知機をもとに、保育者として子どもの尊い生命を守るために、子どもの病気や看護、応急手当等、必要な援助の方法や事故防止、安全管理について実技を交えて学び、実践できることを目標とする。							
到達目標 学習成果	1. 保育における保健的視点を踏まえた保育環境や援助について理解する 2. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策・感染症対策について具体的に理解する 3. 子どもの疾病やその予防と適切な対応について具体的に理解する 4. 救急時の対応や応急処置等に関する知識と技術を習得する。また、子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等について理解する							
授業計画	回	内容						
	1	イントロダクション：本授業の概要・目的を理解する						
	2	子どもの健康に関する現状と課題について：母子保健や乳幼児死亡、子どもの病気などに関する統計的資料を用いて、子どもの健康に関する現状を知り、現代社会における課題から保健活動を考える						
	3	子どもの保健に関する個別並びに集団における健康と安全について理解する						
	4	保健的視点を踏まえた保育環境（衛生管理）について理解する（演習）						
	5	保育における保健的対応について：保育における保健的対応の基本的な考え方について知る（身体計測・演習）						
	6	保育における健康及び安全の管理について：保育における事故防止及び安全対策、危機管理、災害への備えについて理解する（グループワーク）						
	7	子どもの疾病と適切な対応①：子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握と傷病が発生した時の対応について知る						
	8	子どもの疾病と適切な対応②：応急処置と救急処置及び救急蘇生法について理解する（演習）						
	9	子どもの疾病と適切な対応③：感染症の発生状況とその対策、集団発生の予防について理解する						
	10	感染症の予防と対策 発症時と罹患後の対応について理解する（嘔吐物処理・演習）						
	11	アレルギー疾患の特徴と適切な対応について理解する（演習）						
	12	慢性疾患の特徴と適切な対応、障がいのある子どもへの適切な対応について理解する（車いす・演習）						
	13	事故防止及び健康安全管理について：健康及び安全管理体制 職員間の連携・協働と組織的取り組みについて考える（ヒヤリ・ハット・演習）						
	14	保育における保健活動の計画と評価について理解する（演習）						
15	母子保健、地域保健、家庭、専門機関、自治体等との連携について理解する							
評価基準	1、子どもの健康状態・疾病などへの対応について説明できるか 2、子どもの保育環境について考え、事故予防とその後の対応について説明できるか 3、子どもの体調不良等に対する適切な対応について実践できるか 4、子どもの応急手当や救急処置等について実践できるか 5、保健計画や地域との連携、虐待防止について説明できるか							
評価方法	期末試験 80%・グループワークや演習参加態度 20%							
フィードバック方法	演習課題等は、採点後に授業中に返却し、講評する							
アクティブラーニング	グループワーク、演習							
教科書	これならわかる！子どもの保健演習ノート 改訂第3版追補 小林 美由紀執筆 診断と治療社出版							
参考書	参考文献：「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」厚生労働省、「教育・保育施設における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」内閣府・文部科学省・厚生労働省、新版 子どもの保健 I 佐藤 益子/中根 淳子 編著 ななみ書房							
履修条件	「子どもの保健」の履修を終了していること。1年次の教科書「授業で現場で役立つ！子どもの保健テキスト」を持ってくること。							
授業外学習	「子どもの保健」の内容を復習しておくこと（30分） 「保育所保育指針」第5章 「健康と安全」を精読しておくこと（30分）							
オフィスアワー	授業の際に伝える							